

# 令和4年度 鹿沼ケーブルテレビ放送番組審議委員会

## 議事録

<日時> 令和5年2月20日(月) 12時00分～13時30分

<場所> 鹿沼商工会議所 特別会議室

<放送番組審議委員 出席者> 7名

鈴木貢	会長	鹿沼文化協会会長
青木孝雄	副会長	J Aかみつが代表理事組合長
佐藤信	委員	鹿沼市長
大島久幸	委員	鹿沼市議会議長
奈良部實	委員	鹿沼市自治会連合会会長
斎藤陽子	委員	栃木県社会教育委員協議会会長
入江史朗	委員	鹿沼商工会議所専務理事

<鹿沼ケーブルテレビ株式会社 出席者> 3名

辻孝行	代表取締役会長
田濤広行	代表取締役社長
野口重彦	放送課課長
永井宏明	総務課係長

<議案書作成> 1名

鹿沼ケーブルテレビ放送番組審議会 事務局

永井宏明 総務課係長

1. 開会
2. 鹿沼ケーブルテレビ株式会社 代表取締役会長挨拶
3. 鹿沼ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長挨拶
4. 放送審議委員会 会長挨拶
5. 放送番組審議会委員 紹介
6. 議事

<議事内容>

(1) 報告事項

① 令和4年度「かぬまチャンネル」に関する報告

1. 加入状況
2. 「かぬまチャンネル」番組編成について
3. 主な番組について

② 令和4年度の主な自主放送設備改修に関する報

1. かぬままちカメ（引田 天王橋）の増設
2. お天気チャンネル（102ch）の老朽化に伴う、設備変更

（委員）

天王橋にカメラを設置したことで、川に飛び込む等で通報されるのが減ったのでカメラ設置に感謝している。

（CATV）

今後も増設検討し、鹿沼市とも密な連携が取れればと考えている。

（委員）

黒川や思川等にも設置し、アプリとも連携して防災に役立てて欲しい。  
駅前等にも設置すれば防犯にもなるので考えて欲しい。

（CATV）

貴重なご意見として今後の検討材料の一つにしたい。

③ 令和5年度の主な自主放送設備改修計画について

1. 「お悔み情報」送出サーバーの老朽化に伴う、設備改修

（委員）

現在のシステムでは名前と年齢のみの表示だが、式場も表示できないか。

（CATV）

情報元である下野新聞社からの情報が名前と年齢、告別式の日付けのみであるため現時点での対応は難しいが、今後システムの更改に合わせて市内の葬儀場各事業者様と連携することで式場名等の詳細情報も表記できるように検討する。

④ その他

1. スマホアプリとSNSの活用状況

(委員)

取材が終わった後に宣伝や周知をすれば、まだアプリやSNSを知らない人がたくさんいるので真剣に聞いてくれると思う。また希望者にはその場でアプリを入れたり、SNSに登録したりを手伝ってもらえると助かる。

(CATV)

ご協力いただけるのであればありがたい。今後の取材業務で検討したい。

報告事項について、鹿沼ケーブルテレビ放送課長の野口より資料に基に説明があり、質問に対しては上記の通り返答をした。

(2) 協議事項

① 「かぬまチャンネル」へのご意見・ご要望

(委員)

コロナ禍で自治会の行事が中止になり、地域の交流が非常に希薄化したが、今後はこれまで通りいろんなイベントが出来るようになると思うので、取材のお願い等、出来るだけ要望に応じて欲しい。

(CATV)

コロナ禍では行事減少で取材ネタを探すのに苦労したが、今後は各番組で積極的に取材を行いたいので情報提供をお願いしたい。

(委員)

新市庁舎が完成するが、新市庁舎を紹介するような番組の予定はあるか。

4月30日の記念式典と5月8日の完全開庁、また各課の情報も掘り下げて取り上げて欲しい。

(CATV)

市民の皆様も非常に関心の高い話題だと考えている。以前、建設中に内覧会や説明会取材させていただき紹介している。今後も引き続き番組で扱って行きたいと考えているので、担当部署の方々にも是非ご協力いただきたい。

(委員)

「VIVA!KANUMA」で飲食店の紹介を楽しみに視聴しているが、物造りの街という事で工場紹介や工場見学も取り上げて欲しい。原材料から物が出来るまで早送りで紹介してもらえれば物造りの街をアピールできる。

(CATV)

木工、職人の街なので物造りにも焦点を当てて、番組制作を今後検討したい。

( 委 員 )

行政と一体になり農業の町でもあるので、農業の生産や品質に焦点を当てたPRもお願いしたい。  
農業新聞の「暮らしの活動」と連携を図って映像で残したい。

(CATV)

JA 広報担当の方から今も情報をいただいている。今後も継続して情報をいただければPRの一環になると思うので引き続き取り上げていきたい。

( 委 員 )

駅伝大会に出場したが、人と自然等が上手く組み合わされた編集によって見方が変わると改めて感心した。

また市の広報で文字情報が多く流れているが、これからは職員を登場させて親しみを持って見ていただけるようお願いしたい。

(CATV)

担当職員の方に協力をいただければ、番組に出演することで市民へ分かり易く情報提供ができると思うので、必要に応じて番組でも協力したい。

( 委 員 )

番組ガイドを楽しみにしている。配布されると一ヶ月分録画予約をする。シニア世代が楽しめ役に立つような番組を提供して欲しい。

(CATV)

4月に番組を8チャンネル増やした、マニアの方が喜ぶような番組も提供し始めた。今後もニーズの多い番組は取り入れていきたい。

( 委 員 )

高齢者の方々の為にお知らせの電話番号等の表示を長くして欲しい。

(CATV)

お問い合わせ先の表示は間違えのないよう細心の注意を払って注意しながらやっている。表示時間に関しても、ご高齢者でも読み取れる大きさや長さで制作していくよう心掛ける。

( 委 員 )

スマホアプリの一案として視聴者からの動画投稿なども検討していただきたい。

取材依頼があっても様々な問題で対応できない場合に視聴者からの投稿を採用すればコミュニティーチャンネルを見る方が増えると思う。

また、アプリのダウンロード数が460とまだまだ少ないと感じるので、ダウンロード数が伸びるような情報提供もして欲しい。

(CATV)

地域情報アプリはダウンロード数が上がらないと効力を発揮しないと考えているので、この PR には今後も注力したい。

動画投稿サービスに関しては、まだ検討段階だがスマホアプリを活用して今後コミュニティーチャンネルで流しているレギュラー番組を動画配信する事でスマホ等インターネット経由によるケーブルテレビ加入者向けサービスが展開できないか検討している。

また、動画配信サービスに併せて、同じスマホアプリを活用して視聴者からの動画投稿サービスが連携して出来るような仕組み作りを検討中。

貴重なご意見として取り入れていきたい。

(委員)

文化協会の年一回の文化祭でダンスや歌の様々な作品が発表されるが、そこに至る過程も取り上げていただければ、検討課題として欲しい。

(CATV)

防災カメラは年に1台増やして行きたい。河川だけ増やすのではなく、関係各所に相談しながら設置場所も選定して行きたい。

工場や農業で物作りしている取材等、youtube や SNS 等個人発信出来るものに対して、お金と時間のかかる取材を行えるのは当社でしかできないと改めて実感した。

インターネットでの動画配信や動画投稿は以前から検討していたが、イメージに合うプラットフォームがようやく見つかったのでこれから進めていきたい。

今回の審議会で賜りましたご意見やご要望に少しでもお応え出来るよう進めてまいりたい。

以上